

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.213)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染の収束は見えませんが、今年もこうして新しい年を迎えられたことに、お慶びを申し上げます。お蔭様で当事業所は、昨年1年間、操業に影響を与えるようなトラブルや新型コロナ感染者の発生もなく安全操業を継続することができました。PCB廃棄物処理事業へのご理解をいただいている地元の皆様方、加えて操業に携わる関係者の方々に対して改めて感謝致します。

さて、先の事業だよりでもご報告したように、昨年9月に環境大臣から豊田市長あて、処理事業の継続及び処理対象物についての要請書が提出されましたが、操業開始以来、私どものやるべきことは、労働災害を発生させない、PCBを漏洩させない、そして情報公開を進めていく等、何ら変わりありません。所員一同 今年も”ゼロ災で行こうヨシ!” の掛け声をもって、何よりも安全を最優先にして処理を進めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和4年1月
豊田PCB処理事業所長 青木 仁志

2. ISO14001の更新審査を受けました

昨年11月4日(木)～5日(金)に外部認証機関によるISO14001(環境マネジメントシステム)の更新審査を受けました。JESCOは、2006年9月に同認証を受けています。

更新審査では、審査員がJESCO本社と各事業所を訪問し、適切に環境安全活動が行われているかを確認されます。本年は豊田事業所が審査対象でした。

2日間の審査でJESCOと運転会社の処理の現場や環境安全活動の計画や実績と記録の確認が行われ、審査員から私たちの活動が規格通りに行われているとの評価を頂きました。

これからも豊田PCB処理施設は、環境にやさしい処理を心掛けてまいります。



3. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検を実施

当施設では、昨年11月15日(月)から12月24日(金)まで、40日間をかけて秋期定期点検を行いました。定期点検終了後は稼働再開しています。

●実施作業の一例

◆安全作業の徹底

処理施設には高い場所に設置された設備や機器があり、その点検や整備には高所作業が必要となります。常設の足場や作業台が設置されていない場所では、必要に応じて仮設の作業足場を設置、また、はしごを用いて実施しました。

そして、作業者の安心安全を確保し、確実な作業のために、フルハーネス型(右画像)などの墜落防止用器具を必ず着用し、高所からの落下防止を図り、安全第一で作業を行いました。



◆熱媒循環ポンプ整備

当施設には蒸留設備をはじめとして加熱プロセスが多数あります。この加熱のプロセスには熱媒油を使用し、ボイラーで280℃に加熱した上で、ポンプで各設備に送ります。

この熱媒油を各設備に送液するのが熱媒循環ポンプです。高温の液体が通るため各部の傷みが早く、定期的な整備が必要となります。今回の定期点検ではポンプ本体を取り外しメーカーで整備を実施しました。設置場所がボイラー室の奥まった箇所であり、また重量物であるため、吊上用架台を設置し、落下や接触等のトラブルがないよう慎重に作業を実施しました。

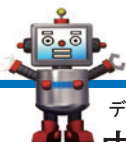


4. 交通安全街頭活動を行いました

昨年12月1日(水)に豊田市の「年末の交通安全市民運動」の一環として行われた「交通安全街頭活動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からはJESCO、運転会社の社員約20名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。

屋外での活動ですが、3密にならないよう、互いに距離を取りつつ、マスクを着用して実施しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

